



# コアカリキュラム

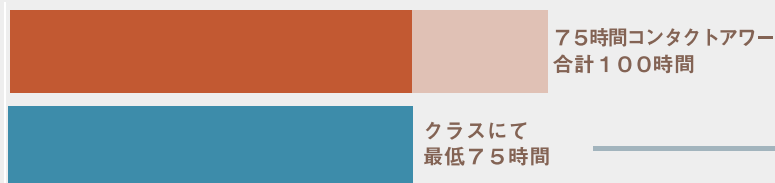
## 現状RYS200 vs 改定後RYS200

時間数の教養カテゴリー vs 時間数+能力をベースとしたモデル

現状RYS200

改定後RYS200

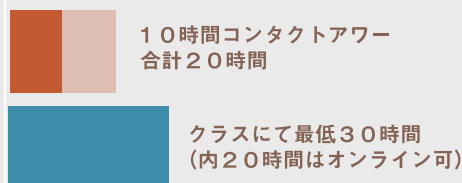
技術、トレーニング、練習



スキル

- ・アーサナ
- ・プラナヤマ
- ・瞑想

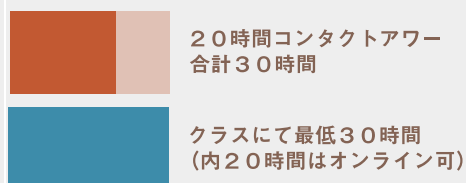
解剖学 & 生理学



- ・解剖学
- ・生理学
- ・生体力学

ヨガヒューマニティ  
(人文科学)

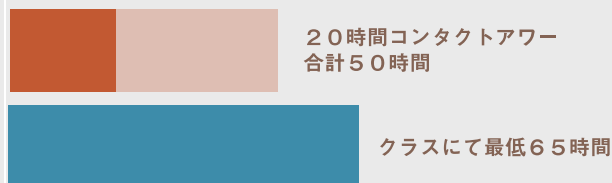
旧ヨガ哲学、  
ライフスタイル & 倫理



- ・歴史
- ・哲学
- ・倫理

プロフェッショナル必須

指導学と実践 (ティーチング  
実習) 科目を含む



- ・指導学
- ・プロフェッショナルの発育
- ・実践 (最低10時間)
- ・選択時間 (最高15時間)

合計

教育カテゴリーから125時間のコンタクトアワー

選択55時間 (コンタクト)  
自由20時間 (コンタクト、もしくはコンタクトなし)

クラスの合計最低時間200

現状のRYS200基準

変更後のRYS200基準